

◎こんにちは。ATM通信班です。今回も「歩いて楽しいみちづくり」をテーマに、様々な情報をお届けします。

ATM鎌ヶ谷が考える「みち並み保存」の大方針は
次の5つです。

**清潔なみち 美しいみち 安全なみち
賑わうみち 理解ある市民**

【発行者】ATM鎌ヶ谷ワークショップ ATM通信編集班 【お問い合わせ受付担当】鎌ヶ谷市 都市建設部 都市整備課まちづくり室
【電話】047-445-1141 【住所】鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1 【e-mail】atm-kamagaya@city.kamagaya.chiba.jp

ATM鎌ヶ谷

検索

※鎌ヶ谷市公式ウェブサイトにてATM鎌ヶ谷のコーナーがあります。鎌ヶ谷の谷は大文字でね！

美しいみち

行って見えてきました！ 房総大網白里町「季房会」

花を満喫して暮らす季美の森

植花活動で資産価値の維持向上も

■今年度も先進地視察会を開催

10月28日(水)天気晴朗のなか、毎年恒例のATM鎌ヶ谷ワークショップ先進事例視察会を千葉県山武郡大網白里町(季美の森)で開催しました。地域の美化活動に取り組んでいる「季房会」のご案内を受け、現地視察および意見交換会が行われました。

■「季房会」について

会の活動目的は「花壇等の植花ボランティア活動を通じて『季美の森地域の環境美化』を推進すること」。結成以来、活動の理解と協力を得るために様々な工夫と努力で近隣住民、先人会(老人会)、子供会、学校、自治会連合、大網白里町(行政)、さらには企業などへ幅広く働きかけ、徐々に成果を積み重ねて現在に至っています。地域の環境の美化は、自分たちの資産価値の維持向上に大変役立つという共通の連帯感を持つています。また、活動を継続していくために、日常活動の詳細な記録の作成、報告書の作成を行い、協力者と活動運営資金の確保に努めています。



■意見交換会での主なQ&A

Q「諸経費に充てる資金を外部から得ていますが、協力金申請はいかがですか？」

A「他のボランティア団体も財源の確保が一番大変と聞きますが、うちの場合はそんなに不自由を感じていません。作業実績や記録などで、地域の皆さんのご理解を頂いているからだと思います。初めの頃は自治会からにしても行政からにしても色々苦勞しました。」(季房会)

Q「助成金を出す側(町)はいかがですか？」

A「財政当局とはたくさん議論をしながら予算を確保している状況です。美化活動はほとんどが労力です。その労力を自発的に提供される住民パワーに予算をシフトすべきだとの立場で努力しています。実績は数年前より増えています。」(大網白里町)

Q「会の今後や問題点をお聞かせ下さい」

A「季房会になぜ助成金などを出すのかというようなことも聞いています。経済情勢などが厳しくなるほど、否定的な情勢になる可能性はあります。これは、花作りが趣味でやっているから見られるか、あるいは環境美化に努力している作業であるから見られるかの分かれ目があると思います。」(季房会)



季房会ご自慢☆「葉牡丹の花壇」

今回の視察の感想を、帰りのバス車内で発表しました。

★他の団体との連携

☆それぞれの団体が、もし同種の活動、同趣旨の活動をやっているとするれば、それが横に連携しながら、例えば自治会で言えば「知恵はないけれどお金を出す」とか「力を出す」とか色々な参加の仕方があるのではないかな、というふうに思います。

★活動資金

☆資金の関係では行政や他の団体からお金をもらっていましたが、渡す側、受ける側の両方に理解があるなと思いました。また季房会の皆さんが、外部に認めてもらうだけの実績と、そのアピールを一生懸命やらなきゃいけないという気持ちをやんと持って、自分たちの活動を記録などにとるといった、努力がすごいなあと思いました。

★資産価値の向上

☆すごく素敵な住宅の造りときれいなみち並みでした。それが経済効果となり、自分の住む家や町の価値が変わるということを知っていて、ああ本当にそうなのだな、と思いました。☆今日のボランティアの団体の活動を見ても、自分たちの住む町の価値を上げるのは自分たちだという認識が非常にしっかりしているな、と思いました。

★継続

☆みなさん楽しそうにやっているなあとこの感じがしました。それが長く続けていく秘訣なのかなあと思います。

☆「継続する事が最大のアピール」だという、あの言葉は、とっても印象深かったです。

第42回ワークショップ

11月14日(土)に、第42回ワークショップが行われました。今年度の先進事例視察を終え、それを踏まえATM鎌ヶ谷では今後どのように活動をしていくべきかを話し合いました。



「視察を活かした今後の取り組み」

花で美しいみち「大網白里町一季美の森地区」は、少人数の自主的な植花ボランティア活動により、進められてきました。その小さな活動が、大きな輪となり、広がり、地域全体の環境美化の推進に発展してまいりました。

ATM鎌ヶ谷の「美しいみち」の取り組みも、この様に発展させていきたいと考えております。これらを踏まえて、今まで以上に我々が出来ることから取り組むことが大切である、との意見が出されました。特に「美しいみち」に関して、

＊既に「花のみち」ポケットパークの植花が行われています。
＊「花のみち」なかよし通り」の整備計画が具体的にまとめられてきています。

以上の事から、今後ATM鎌ヶ谷で具体的に取り組みたい活動の案が出されました。

「今後の取り組みの提案」

- ・同じような活動をしている団体と連携を図る
- ・ポケットパークの植花管理について
- ・設置場所の選定(プランター、フラワーポット等)
- ・管理方法の検討(水やり、剪定等 誰がどのようにするか)
- ・資材の準備(持ち寄り、購入)
- ・沿道住民への協力依頼(ハンギングフラワー)



民地内に設置するハンギングフラワーの例

「なかよし通り・花のみちの整備計画について」

ATM鎌ヶ谷の対象路線である、なかよし通りと花のみちの整備計画について行政より提案があり、ATM鎌ヶ谷ワークショップとして意見をまとめました。

交通規制	側溝	遮熱性舗装	カラー塗装
<ul style="list-style-type: none"> ● 狭くなる部分で啓発的な看板を出すなど、ペアロードと併せてワークショップで考えていく ● 沿道の人々の意見を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観的にもよく、歩行者が歩くスペースを確保できるタイプに入れ替える 	<ul style="list-style-type: none"> ● 遮熱性舗装をして路面の温度上昇を10℃前後抑制する(「くらしのみちゾーン」の環境というテーマのヒートアイランド現象対策) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 交差点部分は赤色 ● 歩行者部分は緑色 ● 車道部分はグレー

鎌ヶ谷西口駅前 いまむかし



1971年(昭和46年)



2009年(平成21年)11月

投稿募集 押し入れにしまっている 昔の写真を募集中!

これは約40年前のペアロードの風景です。晩夏の夕刻、時計会社から退勤する様子のハツラツとした若者たちの群像です。みちの両側にある商店街もまた大変元気で賑わっています。

この年の夏には、マクドナルド一号店が銀座三越に開店しました。1USDollar 360円の固定相場制時代が終わりを告げた年でもありました。

この写真は、鎌ヶ谷市が昭和46年に市制施行記念として市民に配布した「市勢要覧」からのものです。当時の人口は四万五千人弱で、世帯数は一万二千戸強、現在は、常住人口が十万七千人弱で、世帯数は四万一千戸強になっています。(M.K)

来年度2月20日に開催!

- 第43回開催日 平成22年2月20日(土)午後7時
- 場所 道野辺中央コミュニティセンター ター多目的室
- 本ワークショップは、どなたでも参加自由です。どうぞふるってご参加ください!!

編集後記



はや師走となりました。着々と進む道路整備に合わせて、周辺の環境整備に対する関心が高まってきたことを感じる昨今です。良いお年をお迎えください。(編集長)